

自動車事故報告書の記載要領

別記様式（第3条関係）

（表）

自動車事故報告書					
<p>国土交通大臣 殿 <small>自動車の使用</small></p>					
<p>報告書を提出する時点の国土交通大臣の名前を記入</p>					
<p>・道路名は国道・県道・市道等具体的に記入 ・高速道路等の場合はその名称も記入 ・高速道路の場合は、「上り線」、「下り線」の区分と〇〇kpを記入</p>					
<p>時間は24時間制で記入</p>					
☆発生日時	年	月	日	時	分
天候	1 晴れ	2 曇	3 雨	4 雪	5 霧 6 その他
☆発生場所	都道府県	区市郡	区町村	番地	道線
<p>☆当該自動車の使用の本拠の名称及び位置</p>					<p>☆自動車登録番号又は車両番号</p>
<p>地番まで記入</p>					
<p>・自動車検査証の「使用者の氏名又は名称」及び「使用の本拠の位置」を記入 ・営業所名も記入</p>					
<p>☆当時の状況</p>					
<p>トラクタ、トレーラの場合は2段書きとし、「上段」にトラクタ、「下段」にトレーラをそれぞれ記入</p>					
<p>※端的に、かつ、必要な事項(何がどのようにどうなった。)が網羅されるように記載する。(車両故障に起因する事故の場合は、勤務状況の詳細は省略することができる。)</p>					
<p>当該運転者は、〇時に出勤し、日常点検を実施し〇〇〇〇〇の行う点呼を受けた <small>点呼執行者</small></p>					
☆◆現場の略図	<p>のち〇〇に行くため〇時に出庫した。 <small>場所(具体的に)</small></p> <p>〇〇〇〇〇〇〇〇、〇〇から〇〇へ向かうため〇〇km/hで運行中、〇〇に差し <small>【旅客】乗車又は空車 地名 地名 車両の速度 場所</small> <small>【貨物】物品名、積載量</small></p> <p>かかり〇〇を〇m前で発見し、〇〇〇〇〇が間に合わず〇〇と〇〇し〇〇〇〇させた。 <small>車両、歩行者、自転車、物等 認知距離 事故を回避するために取った行動 車両、歩行者、自転車、物等 接触、衝突 死亡、負傷</small></p>				
☆当時の処置	<p>警察、家族、会社等への連絡、死者又は負傷者に行った処置、病院への収容状況、旅客・積荷等の処置を記入</p>				
☆事故の原因	<p>警察の調書、運転者及び目撃者の証言等を参考に記入(なるべく簡潔に、明確に)</p>				
☆再発防止対策	<p>事業者(使用者)の事故に対する再発防止についての取組みについて具体的に記入</p>				
※備考	<p>記載しないで下さい</p>				

発生した事故の種類を○で囲む(2種類以上の事故の場合、最も大きな被害が発生した事故の種類とする。飲酒等・救護義務違反の場合は両方記入)

2種類以上の事故を併発した場合は、その発生順に従い数字を記入

自動車又は原付と衝突又は接触し当該車両に乗っている者が死傷した場合、又は、家屋その他の物件と衝突して付近にいた人が死傷した場合を「衝突」とする

自転車又は歩行者と衝突又は接触し、自転車に乗っていた者又は歩行者が死傷した場合は「死傷」とする

衝突事故のときのみ記入

トラック、トレーラの場合は、2段書きとし、上段にトラック、下段にトレーラを記入(自動車検査証にて確認)

運転者、乗客及び車掌等の合計を記入

「その他の場所」とは、構内、営業所等の一般交通の様に供しない場所とする

路肩部分を含む道路(車道と歩道の区分がある場合は、車道(※歩道は含まない))

当時の運行計画については、車庫を出庫してから帰庫するまでの計画とし、主な経由地を含むものとする。また、計画の日時も記入する

貨切旅客の場合は、運送契約の相手方の氏名又は名称、住所及び旅行業法の旅行者の場合はその番号を記入する

トラック事業者からの運送依頼により貨物運送を行った場合には、「1」を、それ以外は「2」を○で囲む

事故区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	転落	転覆	路外逸脱	火災	踏切	衝突	死傷	危険物等	車内	飲酒等	健康原因	救護違反	車両故障	交通傷害	その他
	☆危険認知時の速度 km/h ☆危険認知時の距離 m ☆スリップ距離 m														
	当該自動車の事故時の走行等の態様 1直進(加速) 2直進(減速) 3直進(定速) 4後退 5追越 6右折 7左折 8駐車 9停車 10他 10他 11合流 12その他														
	道路上での事故の場合には事故発生地点 1車道 2歩道 3路肩 4路側帯 5交差点 6バス停留所 7トンネル 8その他 9その他														
	道路状況 1左側通行 2右側通行 3信号無視 4車道通行 5歩道通行 6横断歩道歩行 7車の直前横断 8斜横断 9飛び出し 10踏切 11路上作業 12路上遊戯 13乗降中 14安全地帯 15自転車運動 16その他														
	死傷事故の場合には死傷者の状態 1原動機(速度抑制装置を除く) 2速度抑制装置 3動力伝達装置 4車輪(タイヤを除く) 5タイヤ 6車軸 7操縦装置 8制動装置 9緩衝装置 10燃料装置 11電気装置 12車枠及び車体 13連結装置 14乗車装置 15物品積載装置 16窓ガラス 17騒音防止装置 18ばい煙等の発散防止装置 19灯火装置及び指示装置 20反射器 21警音器 22視野を確保する装置(後视镜、窓ふき器等) 23計器(速度計、走行距離計等) 24消火器 25圧容器及びその附属装置 26運行記録計 27その他														
	車両の故障に起因する場合は故障箇所														
	☆乗車定員 人 ☆当時の乗車人員 人 ☆最大積載量 kg ☆当時の積載量 kg														
	許可等の必要性 1有 2無 特殊車両通行許可 1有 2無 保安基準の緩和 1有 2無														
	許可等の取得状況 1有 2無 制限外許可 1有 2無 特殊車両通行許可 1有 2無 保安基準の緩和 1有 2無														
	貨物の内容 1土砂等 2長大物品等 3コンテナ 4生コンクリート 5危険物等 6冷凍、冷蔵品 7原木、製材 8引越 9その他														
	運搬の有無 1有 2無														
	種類 1危険物 2火薬類 3高圧ガス 4爆発物 5R1 6毒劇物 7可燃物 放射能の量 () kg、() Bq 放射性物質の性状 イエローカードの携行状況														
	道路の種類 1道路(イ高速自動車国道、ハその他) 2その他の場所														
配の状況 1平たん 2上り 3下り 1直線 2右曲り 3左曲り 4交差 5つづら折															
路面の状況 1乾 2湿 3積雪 4氷結 警戒標識の設置 1有 2無 ☆当該道路の制限速度 km/h 踏切の状況 1遮断機付き 2警報機付き 3その他															
☆当時の運行計画 (発地・経由地・着地) ☆運送契約の相手方の氏名又は名称、住所等(貨切旅客のみ) 安全性優良事業所の認定(貨物のみ) 1有 2無 運送形態 ☆荷送人の氏名又は名称及び住所 ☆荷受人の氏名又は名称及び住所															
☆運行管理者 氏名 運行管理者資格者証番号															
☆損害の程度 ◆死亡 人(うち乗客 人) ◆重傷 人(うち乗客 人) 軽傷 人(うち乗客 人)															
☆事業者番号 ※再発防止対策															

事故時の速度・距離・スリップ距離を警察の事故の実況見分及び運転者などに確認し記入するものとし、客観的事実がわからない場合は「不明」と記載する

死傷事故の場合のみ記入する

経験年数は、当該自動車を運転することが出来る資格を得たときからの運転経験の期間とする

本務・臨時の別は、自動車運送事業者から当該運送事業の用に供する自動車の運転者として選任されている者を「本務」とし、それ以外の者は「臨時」とする

複数の運行管理者が選任されている場合に記入する

事故について最も責任のあると考えられる運行管理者について記入する

「死亡」とは、当該事故発生後24時間以内に死亡したものとす